

7月

新着図書

みとりねこ

著者名:有川 ひろ
出版者:講談社

リクエスト
ありがとうございます

猫の浩太は、桜庭家の次男坊・浩美とずっと一緒に過ごしてきた。三男猫扱いには不満だけれど、たったひとつの願いは浩美より一日だけ長く生きること。だから肉球はんこの練習にも日々余念がない。なんのためにって？それは一。表題作「みとりねこ」、『旅猫リポート』外伝2編を含む、7編、7匹の猫物語。

あなたの言葉を

著者名:辻村 深月
出版者:毎日新聞出版

リクエスト
ありがとうございます

辻村さんは大人なのに、どうして子どもの気持ちがわかるのですか？あの時、のみこんだひと言。いま感じている気持ち。その言葉はいつか必ず、あなたを助けてくれる。学校生活、出会いと別れ、読むこと、書くこと。自らの体験を元にまっすぐに語りかけるエッセイ集。

夏期限定トロピカルパフェ事件

著者名:米澤 穂信
出版者:東京創元社

小市民たるもの、日々を平穏に過ごす生活態度を獲得せんと希求し、それを妨げる事々に対しては断固として回避の立場を取るべし。賢しらに名探偵を気取るなどもってのほか。諦念と儀礼的無関心を心の中で育んで、そしていつか掴むんだ、あの小市民の星を！そんな高校二年生・小鳩君の、この夏の運命を左右するのは“小佐内スイーツセレクション・夏”！？待望のシリーズ第二弾。

秋期限定栗きんとん事件 下

著者名:米澤 穂信
出版者:東京創元社

ほくは思わず苦笑する。去年の夏休みに別れたというのに、何だかまた、小佐内さんと向き合っているような気がする。ほくと小佐内さんの間にあるのが、極上の甘いものをのせた皿か、連続放火事件かという違いはあるけれど…ほんの少しづつ、しかし確実にエスカレートしてゆく連続放火事件に対し、ついに小鳩君は本格的に推理を巡らし始める。小鳩君と小佐内さんの再会はいつ。

冬期限定ボンボンショコラ事件

著者名:米澤 穂信
出版者:東京創元社

小市民を志す小鳩君はある日轢き逃げに遭い、病院に搬送された。目を覚ました彼は、朦朧としながら自分が右足の骨を折っていることを聞かされる。翌日、手術後に警察の聴取を受け、昏昏と眠る小鳩君の枕元には、同じく小市民を志す小佐内さんからの「犯人をゆるさない」というメッセージが残されていた。小佐内さんは、どうやら犯人捜しをしているらしい…。冬の巻ついに刊行。

定食屋「雑」

著者名:原田 ひ香
出版者:双葉社

リクエスト
ありがとうございます

真面目でしっかり者の沙也加は、丁寧な暮らしで生活を彩り、健康的な手料理で夫を支えていた。しかしある日突然、夫から離婚を切り出される。理由を隠す夫の浮気を疑い、頻繁に夫が立ち寄る定食屋「雑」を偵察することに。大雑把で濃い味つけの料理を出すその店には、愛想のない接客で一人店を切り盛りする老いた女店主の“ぞうさん”がいた。夫の真意を探るため、沙也加はこの定食屋「雑」でアルバイトをすることになり。年齢も立場も異なる女たちが明日を切りひらく。読めば勇気がもらえる、心温まる物語。この店は、きっとあなたの居場所になる。

春期限定いちごタルト事件

著者名:米澤 穂信
出版者:東京創元社

小鳩君と小佐内さんは、恋愛関係にも依存関係にもないが互恵関係にある高校一年生。きょうも二人は手に手を取って清く慎ましい小市民を目指す。それなのに、二人の前には頻繁に謎が現れる。名探偵面などして目立ちたくないのに、なぜか謎を解く必要に迫られてしまう小鳩君は、果たしてあの小市民の星を掴み取ることができるのか？新鋭が放つライトな探偵物語、文庫書き下ろし。

秋期限定栗きんとん事件 上

著者名:米澤 穂信
出版者:東京創元社

あの日の放課後、手紙で呼び出されて以降、ほくの幸せな高校生活は始まった。学校中を二人で巡った文化祭。夜風がちよっと寒かったクリスマス。お正月には揃って初詣。ほくに「小さな誤解でやきもち焼いて口げんか」みたいな日が来るとは、実際、まるで思っていなかったのだ。—それなのに、小鳩君は機会があれば彼女そっちのけで謎解きを繰り広げてしまい…シリーズ第三弾。

巴里マカロンの謎

著者名:米澤 穂信
出版者:東京創元社

「わたしたちはこれから、新しくオープンしたお店に行ってマカロンを食べます」その店のティー&マカロンセットで注文できるマカロンは三種類。しかし小佐内さんの皿には、あるはずのない四つめのマカロンが乗っていた。誰がなぜ四つめのマカロンを置いたのか？小鳩君は早速思考を巡らし始める…心穏やかで無害で易きに流れる小市民を目指す、あのふたりが帰ってきました！

クスノキの女神

著者名:東野 圭吾
出版者:実業之日本社

少女と少年には秘密があった？？。不思議な力を持つクスノキと、その番人の元を訪れる人々が織りなす物語。累計100万部突破！待望のシリーズ第2弾！神社に詩集を置かせてくれと頼んできた女子高生の佑紀奈には、玲斗だけが知る重大な秘密があった。一方、認知症カフェで玲斗が出会った記憶障害のある少年・元哉は、佑紀奈の詩集を見てインスピレーションを感じる。玲斗が二人を出会わせたところ瞬間に意気投合し、思いがけないプランが立ち上がる。

7月

新着図書

ピットフォール

著者名:堂場 瞬一
 出版者:講談社

一九五九年、ニューヨーク。元刑事で探偵のジョーは、役者志望の女性の行方を捜してほしいと依頼を受ける。その矢先、衝撃的な知らせが。黒人の探偵仲間ウィリーが殺されたというのだ。残忍な手口は、女性ばかりを狙う連続殺人事件と同じだった。ハードボイルドの美学が詰まった傑作！

ラットラップ

著者名:堂場 瞬一
 出版者:講談社

愛と平和の祭典、ウッドストック・フェスティバル。若者たちが音楽に酔いしれる中、一人の少女が消えた。依頼を受けた探偵ジョーは、助手リズと調査を開始。コンサート会場で少女が中年のヒッピー女性と一緒にいたとの証言を得て、現地へ向かうが…。ハードボイルドの魂を歌い上げる傑作！

ブラッドマーク

著者名:堂場 瞬一
 出版者:講談社

私立探偵ジョー・スナイダーに、メジャーリーグの古豪「ヤンキース」から選手の調査依頼が持ち込まれる。著者渾身のハードボイルド三部作、最終巻！〈文庫書下ろし〉

動的平衡ダイアローグ 9人の先駆者と織りなす「知の対話集」

著者名:福岡 伸一
 出版者:小学館



「『知的生命体』が宇宙にいるのは必然なのか」「なぜ生物は『美しい』と感じるのか」「記憶は死に対する部分的な勝利である」といったさまざまなテーマから、生命や芸術の本質に迫る対話集。ノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロ氏をはじめとする、芸術、科学、建築、仏教など各分野の第一人者と福岡伸一が自由自在に対話を展開する。新書化にあたり、歌手・俳優であり演劇のプロデューサーとしても活躍する小泉今日子氏との対談を新たに収録。

動物たちは何をしゃべっているのか？

著者名:山極 寿一・鈴木 俊貴
 出版者:集英社



つい最近まで、動物には複雑な思考はないとされ、研究もほとんどされてこなかった。ところが近年、動物の認知やコミュニケーションに関する研究が進むと、驚くべきことが分かってきた。動物たちは何を考え、どんなおしゃべりしているのか？シジュウカラになりたくて年の半分以上を森で暮らす研究者と、ゴリラになりたくて群れの中で過ごした研究者が、最新の知見をこれでもかと語り合う。そして、その果てに見えたヒトの本質とは！？

糖質疲労 「疲れやすさ」と「老化」の正体

著者名:山田 悟
 出版者:サンマーク出版



食後の眠気は病気の始まり。唐揚げにはマヨネーズをかけるほうがいい！世界最新医学が教える食べ方。

パンダのおさじとふりかけパンダ

著者名:柴田 ケイコ
 出版者:ポプラ社

ふりかけパンダはじゅもんひとつでどんなごはんも「パンダごはん」にかえる、ふしぎなふりかけ。でも、つかいかたをまもらないとたいへんなことに…！

